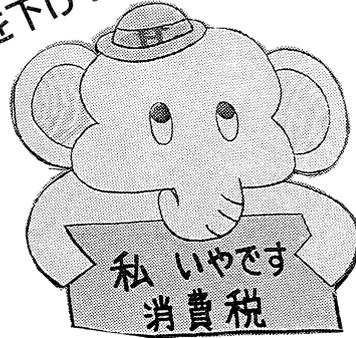


愛 労 連

愛知県労働組合総連合
 名古屋市中区新栄一丁目22-18
 TEL 052-262-1377
 発行人 阿部 精六
 第 3 号 1990年2月5日

総選挙闘争特集号

※働く者の要求実現へ、きわめて大きな影響をもちますので、今回は「総選挙特集号」を企画、編集しました。
 ◇2月18日(日)の投票日には、「最高裁判官国民審査」が同時に行われます。現在の最高裁の裁判官は司法の反動化をすすめる罪深き人ばかりです。全員にX印をつけましょう。



総選挙の火ぶたがきかけられた。大いに議論し、政治・候補者の前進のため議論しよう!

政治の流れを変えるため 総選挙に全力投球しよう!

軍事費を削り、税金は大企業から!



要求実現から先ず

JRは地労委の命令を守れ!



言論の自由を保障せよ! フアシズムを許すな!

さあ、あなたの要求は

愛知の労働者・国民のみなさん！
 公示が明日に迫った総選挙は、十八日の投票をめぐり、事実上終盤戦に入っていると言われます。この選挙は、昨年の参議院に続いて衆議院でも自民党の絶対多数を打破し、政治を国民の手に取り戻す絶好のチャンスです。ここ愛知は衆議院の議席二十二のうち、半数の十一を自民党が占めています。

また、総理大臣の地元でもあります。この愛知でもあります。この愛知で自民党の敗退をかちとることは、全国的にも大きな意義があります。

労働者・県民のみなさん！

日本は「世界一の金持ち国」といわれています。しかし富んでいるのは大企業とごく一部の資産家だけです。大多数の国民は、突出する軍事費の圧迫を受け、消費税による増税、劣悪な社会保障、教育の荒廃、暴騰する地価や住宅費に苦しみ「豊かさ」とは無縁の暮らしを強いられています。

大企業は史上最高の利益をあげて金あまじだといふのに、労働者は低賃金と長時間・過密労働、人減らし「合理化」、職場のしめつけと差別に苦しめられ、過労死の不安も増大しています。

このような現実を、私たちに負担と犠牲を押しつけ、アメリカと大企業の利益を優先させる積年の

の自民党政治の結果であり、一部の野党を抱え込んだ「密室政治」、金権腐敗政治の根もここにありま。

こうした自民党政府と財界の政策を陰に陽に助けてきた「連合」など右よりの労働組合の責任も重

自民党の独裁政治を打ち破り 労働者・国民の願いが通る国会を

総選挙闘争アピール 愛知県労働組合総連合

大です。

労働者・県民のみなさん！

いま、「国民が主人公となった政治」への大きなうねりが世界をおおっています。東欧では自由と民主主義を求める闘い

が前進し、チリでは軍事独裁政治が打ち倒されま

した。日本でも消費税、金権腐敗政治、コメ輸入自由

化問題などに対する国民の怒りが参議院で自民党の初めの過半数割れをもたらしました。

今度の総選挙はこの流れをいっそう大きくし、衆参両院とも国民の願いが通る国会にする絶好のチャンスです。総選挙での勝利は消費税の廃止をはじめ国民要求を大きく前進させ、全国一律最賃制や労働時間短縮、完全週休二日制などの法制化をも可能にし、九〇年春闘での大きな飛躍にもつながるでしょう。

私たちが愛労連は特定政党支持の立場はとりません。組合員の政党支持の自由、政治活動の自由を保障します。しかし、この歴史的政治戦に無関心であることは許されません。

政治の現実と私たちの切実な要求をみんなで語り合い、職場で、家庭で地域で各政党・候補者の政策を討議し、自民党政治への批判と怒りをさらに広げ、ともに要求をたたかえる政党・候補者の前進のために奮闘しましょう。

八〇年代の「戦後政治の総決算」路線を押し返し、希望あふれる九〇年代を切り開く出発点として、みんなの力で総選挙の勝利をかちとりましょう。(2月2日臨時大会)

「政党支持の自由」は賛成だが
 (一) 悪政に怒りもって闘うこと肝心
 (二) (私) 愛労連顧問(元愛労評議長) 成瀬 昇

反動の80年代から進歩と希望あふれる90年代を切り開くキーワードは、まともな労働運動の前進と革新政党の躍進です。

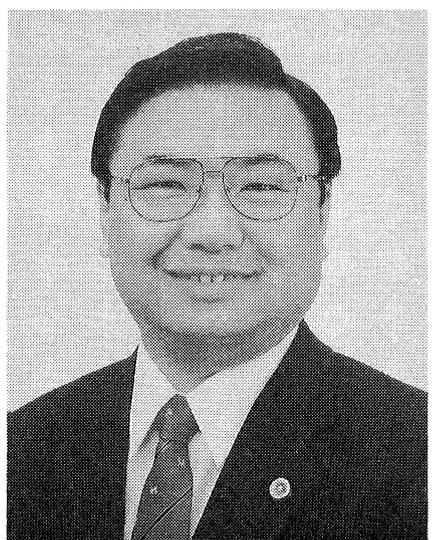
かつての愛労評は社会党支持で、選挙が始まると専従者の殆んどは選挙に専念

して日常業務はストップ、機関紙も選挙一色でした。愛労連は組合員の思想、信条の自由と政治活動の自由を保障しています。この方針は正しいのですが、政党支持自由を隠れみのにして、自覚的に選挙を闘わないことがあつたらら自民党を利用するだけです。



今度の選挙の勝敗は、私たち労働者が自民党の悪政に怒りをたぎらせ、生活をよくするためにどれだけ真剣に闘うかにかかっていると思います。90国民春闘の前哨戦としても精一杯に闘いましょう。

「政治は変えられるもの」だと
 実感できる時がきた………
 弁護士 竹内 平



昨年四月、名古屋の市民は、一つの都市の市長選挙を国の政治に対する怒りを表す舞台とした。あたりまえのことのようにして、だれもが政治を話題にした。

私への一票は、今までのしがらみをこえ勇気を持って投ぜられた一票であり、実際に時の竹下自民党内閣に大打撃を与えた。一昨年に消費税を強行採決した自民党は、そのうち国民があきらめるものと思っていたのであろうか。

しかし、今、主権者の一票が政治を動かしてきている。名古屋市の消費税上乗

職場の要求実現へ、私も総選挙をがんばります

荷主に値引きされ放題

大資本優先の政治許せない

全港湾・船舶分会初合班

須甲英夫さん(38歳)



大資本の利益優先の自民党政治を撃ち破らなければなりません。



めていきます。一クラス四十七人、しかも低学力の生徒が多い。教師の努力にも

行革で四万五千人削減

自民となれあう政党ノ

名古屋市職・昭和環境事務所



岡田勝彦さん(50歳)

確かな学力を保障するためにも政治を変えたい
 愛高教・南陽高校分会
 佐藤るみ子さん(48歳)

「わからない授業をじっと坐って聞いている苦しみがわかるか」と言っ、生徒は非行に走り、学校をや

私たちは自治体労働者、清掃労働者の誇りを持って

年二千時間以上の過密労働

トラック運転手の声を聞け

運輸一般・名古屋陸運分会

山口 通さん(46歳)



トラック運転手の年間総労働時間は、三千時間以上が四割で、二千五百時間以上が七割です(運輸一般調査より)。

その原因は、重層の下請による運賃ダンピング、賃金はじめ労働条件の低下、

になれあう政党では、私たちの未来はありません。

荷主による看板方式や時間指定の運行なのです。

労働者の意思と無関係にスピードアップが求められ労働強化が交通事故をひきおこしているのです。大企業本位の自民党の運輸政策が運転手を苦しめています

総選挙では、自動車運転手の労働時間などの改善基準の法制化、道路運輸の安全、過労禁止の社会的規制の強化などの要求前進へがんばりたい。